

令和2年度 第2回介護保険運営協議会  
地域包括支援センター運営部会 会議録（概要）

1 日 時 令和3年3月22日（月）午後2時15分

2 場 所 三条市役所 2階 大会議室

3 出席状況

(1) 出席委員

田中 吉明部会長、小嶋 嘉代子委員、眞保 京子委員、小林 弘美委員、  
遠藤 聡委員、野村 正人委員（6人）

(2) 欠席委員

石附 克也部会長職務代理者、安室 久恵委員（2人）

(3) 事務局職員

高齢介護課 課長補佐 野水 裕晃、企画調整係長 永井 純子、  
高齢福祉係長 榎本 孝仁、高齢福祉係主事 渡辺 萌里、  
地域包括ケア総合推進センター主査 渡邊 哲也、  
地域包括ケア総合推進センター主任 渡邊 晃代、  
地域包括ケア総合推進センター一般任用主事 高野 圭、  
地域包括支援センター嵐北センター長 高井 久恵  
地域包括支援センター東センター長 西丸 恵理子  
地域包括支援センター栄センター長 小柳 朋子  
地域包括支援センター下田管理者 佐藤 真奈美

(4) 傍聴

なし

4 議 事

(1) 協議事項

ア 介護予防ケアマネジメント等の委託について  
（高野一般主事） 資料1について説明

意見、質疑なし  
全員異議なく決定

イ 令和3年度 地域包括支援センター運営方針（案）について  
（永井係長） 資料2について説明

～意見、質疑～

（眞保委員） 生活支援体制の構築支援の取組として、自治会等への啓発を行う

とあるが、具体的にどのような方法で啓発を行う予定か。

(事務局) 地域の支え合いの状況や、高齢化の実態を伝えることにより、地域での支援の必要性を啓発することを考えている。その後、具体的に話を進めていく場合には、自治会と直接話をしていく方針である。

全員異議なく決定

ウ 令和3年度 地域包括支援センター事業計画・収支予算(案)について  
(各センター長) 資料3について説明

～意見、質疑～

(眞保委員) 自分たちの地区では、民生委員の補助として情報ネットワークというシステムを作り、見守りや情報交換を行っている。良い取り組みだと思うので、参考にしてほしい。

(事務局) 有効な取り組みだと思うので、今後また詳しく話を聞かせていただきたい。

(眞保委員) 自分の地区では、今年度から手上げ制で「サポーター係」になってもらい、地域の見守り等の補助をしてもらっている。民生委員は一人暮らしの方の安否確認をして、感染症対策などで訪問できない場合は、電話や家を外から見まわるなどして活動をしている。

(事務局) 地域の状態に応じた体制づくりが求められている。お話いただいたような取組について、生活支援コーディネーター地域に入っていて各地域に取組を広げていきたい。

全員異議なく決定

5 閉 会 午後2時45分